

昭和 19 年に徳島県美馬郡貞光町真光寺へ集団疎開した南恩加島小学校の生徒(29 名)が、翌 20 年 1 月 29 日午後 9 時ごろ疎開先で火災のため 16 名が死亡しました。

平成 15 年 1 月に児童の要望で南恩加島小学校に「十六地蔵記念モニュメント」が設置され、台座には 16 人の遺影と名前を刻んだ銅板をはめ、中には当日渡された卒業証書が収められました。



徳島県貞光町(現:つるぎ町)の真光寺には、貞光町の人々や徳島県全県の学校で取り組まれた募金でお地蔵さんがつくられ、1946(昭和 21)年 5 月 29 日開眼供養が行われました。像の高さ約 1.5m、台座の正面には「為疎开学童頓成菩提也」と刻まれ、横には町長の碑文と子どもたちの名前が刻まれています。

